

はじめに

令和三年は、埼玉県が誕生して百五十年目の節目の年でした。世界中で新型コロナウイルス感染症の流行が続く中、多くの人々が、感染拡大の防止に取り組み、力を尽くしてきた一年となりました。また、東京2020オリンピック、パラリンピック競技大会が開催され、自己ベストを目指す選手の姿、そして多様性と調和のメッセージが込められた大会の様子に世界中が盛り上がりました。

その一方で、新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別といった問題が発生していることは、誠に残念です。いまだに、いじめの問題、児童虐待、障害のある人や高齢者に対する人権侵害、インターネット上での誹謗、中傷の書き込み等、悲しく痛ましい人権問題も発生しています。

こうした中、人権についての理解を深めるとともに、日常生活の中で人権への配慮が態度や行動に現れるような人権感覚の育成に主眼を置いた人権教育の充実が一層求められています。

「はばたき」には、子供の豊かな感性で人権についてとらえた作品が掲載されています。思いやりに満ちた温かい心や社会のあり方を鋭く突いたまっすぐで純粋な気持ちにあふれた子供たちの文章には、人の心に響くものがあります。この「はばたき」が、学校や地域・家庭等で広く活用されること、手に取った方々が、他人の痛みに気付いているか、偏見や差別の種が隠れていないか、人権を尊重できているかなど、自分自身の心を見つめ直すきっかけとなることを切に願っています。

おわりに、素晴らしい作品を応募してくださった児童生徒の皆さん、御指導をいただいた学校の先生方、刊行にあたって御協力いただいた編集委員の皆様には厚くお礼申し上げます。

令和三年十二月